

就任のご挨拶

後援会会長 伊東 武史

盛夏の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、令和7年度会長になりました伊東です。この後援会は会員である父母等の皆様並びに教職員の皆様のご協力を賜り活動を行っております。至らない点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本会は皆様からお預かりした後援会費を、短期大学の教育に関する諸活動 並びに 学生の活動を後援し、教育環境の向上や発展に寄与することを目的に使用いたします。令和7年度の活動内容は、先日の役員会で決定をしましたが、「父母等教職員懇談会の実施」「学生の学内研修・学習活動の援助」「後援会の事業報告」の大きく3つです。特に支援の対象の中心は「学生の学内研修・学習活動の援助」であり、具体的には専門教育に係る講演会や学年間交流イベント、就職に関する取り組みとしての OG 懇談会等、広範囲にわたります。

短大生活を送る中で単位の修得は大事なことですが、この期間は社会に出るための直前の準備期間でもあります。日々を積み重ねることで少しずつ成長し、社会を力強く生きていく土台を作り上げていくための大切な期間です。そのためにも短大と連携をすることにより、学生たちの短大生活がより充実するように支援していきたいと考えています。

末筆になりますが、学生の皆さん及びご家族様のご健勝と香蘭女子短期大学の益々の発展を祈念致しまして就任の挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

学長 坂根 康秀

盛夏の候となりましたが、会員及びご家族の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご精励のこととお喜び申し上げます。かねてより、本学の教育活動に対し、物心両面の温かいご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。教職員を代表して、厚く御礼申し上げます。

恒例の KORAN RED WEEK（学園創設のお祝い週間）は各学科で様々な取り組みを行いました。詳細は香蘭女子短期大学ホームページの KORAN VOICE からご覧いただけますので、ぜひご覧ください。また、例年6月に実施しております体育大会は5月31日に開催されました。学友会のメンバーを中心に新しい種目に取り組み、大変な盛り上がりを見せました。体育大会の景品等、後援会からご支援を賜り、ありがたく感謝いたしております。

本学ではいろいろなイベントを通して、仲間同士で協力する力をつけてもらいたいと考えております。近年、対人関係が苦手な学生が増えているように感じますが、このようなイベントを通して仲間を増やしてほしいと願っております。本学で力をつけ、社会で活躍できるよう、今後とも教職員一同、創意・工夫して教育活動に当たって参ります。なにとぞご理解・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

学生の近況と指導・支援について

学生部長 なか はま ゆういちろう 中 濱 雄一郎

平素は本学に対しご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学は、昭和33年の開学以来3万6,000人を超える卒業生を世に送り出してきました。このことは、ひとま偏に保護者の皆様、企業・事業所を含む地域の皆様からのご支援・ご指導の賜物であり、卒業生たちの努力の結果だと受け止めております。

さて、本学の教育の特徴として、行事を通じた集団教育へ力を注いでいる点が挙げられますが、今年度も、5月のKORAN RED WEEK（学園創設のお祝い週間）と5月末の体育大会を盛会のうちに終えることができました。既に11月の香蘭祭に向けて学生たちも動き始めており、今後も楽しみな行事を開催してまいります。行事の際に撮影した写真などを本学公式SNSでも公開していますので、ご覧いただけますと幸いです。

ご連絡が遅れましたが、本学の令和6年度生（2025年3月卒業）の就職決定率は、96.2%（前年99.6%）と、昨年を3.4%下回る結果となりました。詳細につきましては、キャリアセンター長よりご報告させていただきますが、学生数の減少に伴い、1人の学生のパーセンテージが大きくなり、就職が決まっていない学生が1人でも残っていると、どうしても全体へ大きく影響するようになってきました。令和7年度につきましては、一層のきめ細かな就活支援を行い、昨年度以上に学生も満足する結果につながるよう努めてまいります。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本学への変わらぬご支援・ご協力をお願いして、挨拶とさせていただきます。

キャリアセンター長 いの ともいちろう 井野 智一郎

急速に変化する社会状況の下、お嬢様の進路について、皆様ご心配のことと拝察いたします。

就職みらい研究所の『就職プロセス調査』によると、2026年3月卒業予定の大学生の就職内定率が6月1日時点で81.6%という結果が出ております。6月1日は新卒採用選考の解禁日でしたが、近年は解禁日に内定を獲得している学生が8割を超えているのが現状なのです。

こうした時代の変化に対応できるよう、キャリアセンターでは様々なサポート体制を整えて学生ひとりひとりが納得いく進路選択ができるよう努めております。クラスアドバイザー（担任）、学生支援課、キャリアセンターにて、就職相談を随時受け付けており、支援を実施しておりますので、積極的に活用するようにご助言いただけると幸甚です。

教職員一同、引き続きお嬢様に対し就職活動の支援を行い、最後までサポートさせていただく所存です。今後とも本学へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。